

## 小松都市計画道路の変更（石川県決定）

都市計画道路中 3・4・3 号国道線を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・4・3	国道線	小松市 一針町口	小松市 矢田野町 59	小松市 平面町 上小松町 符津町	約 12,060 m	地表式	4車線	20m	幹線街路と 平面交差 12箇所	

「区域および構造は計画図表示のとおり」

### 【理由】

3・4・3 号国道線は、小松市街地を中心とした南加賀地域の物流や生活を支え、災害時には国道 8 号などととも第一緊急輸送道路として位置づけられている主要幹線道路であり、昭和 40 年に都市計画決定された路線である。

このうち小松市北部に位置する長田南交差点は、北陸自動車道小松インターと加賀産業開発道路を結ぶ主要幹線道路である 3・4・7 号小松インター八里線と交差し、周辺では沿道商業施設等が立地している。朝夕の通勤時を中心に慢性的な渋滞が発生し、交通事故も多発している状況にある。

今般、本路線の円滑な交通を確保するため、長田南交差点において、右折車線の追加及び右折滞留長の確保を図ることとした。

これにより、延長約 380m の区間において幅員を 20m から 22m に変更するものである。

## 小松都市計画道路の変更（石川県決定）

都市計画道路中 3・4・3 号国道線を次のように変更する。

上段朱書きは変更前

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・4・3	国道線	小松市一針町口	小松市矢田野町59	小松市平面町上小松町符津町	約12,060m	地表式	4車線	20m	幹線街路と平面交差12箇所	

「区域および構造は計画図表示のとおり」

### 【理由】

3・4・3 号国道線は、小松市街地を中心とした南加賀地域の物流や生活を支え、災害時には国道 8 号などとともに第一次緊急輸送道路として位置づけられている主要幹線道路であり、昭和 40 年に都市計画決定された路線である。

このうち小松市北部に位置する長田南交差点は、北陸自動車道小松インターと加賀産業開発道路を結ぶ主要幹線道路である 3・4・7 号小松インター八里線と交差し、周辺では沿道商業施設等が立地している。朝夕の通勤時を中心に慢性的な渋滞が発生し、交通事故も多発している状況にある。

今般、本路線の円滑な交通を確保するため、長田南交差点において、右折車線の追加及び右折滞留長の確保を図ることとした。

これにより、延長約 380m の区間において幅員を 20m から 22m に変更するものである。

## 小松都市計画道路の変更（石川県決定）

都市計画道路に 3・6・39 号北国街道線を次のように追加する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・6・39	北国街道線	小松市西町	小松市龍助町	—	約 660m	地表式	2 車線	10.9m	幹線道路と平面交差 3 箇所	

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

### 理由

3・6・39 号北国街道線は、小松市中心部を通る北国街道の一部として、古くから市街地の骨格の一部を成す幹線街路である。現在では、沿道にこまつ町家など古くからの家屋が建ち並び、歴史ある街路空間が形成されている。

決定する小松市西町から龍助町の区間は、平成 22 年に小松市景観計画において伝統的な景観の誘導を図る伝統的景観重点地区に指定され、さらに平成 26 年には、地元住民が主体となり、更なるまちなみ景観の向上を目指した「龍助町・西町北国街道まちなみ協議会」が発足した。

今回、平成 34 年度予定の北陸新幹線の小松駅開業を見据え、無電柱化を核としたまちなみ景観の向上や地域の魅力向上を図るため、約 660m の区間において、現道幅員 (W=10.9m) にて、新たに決定するものである。

なお、西町と龍助町間のクランク部においては、一部拡幅 (W=16.0m) とし、車両及び通学学童など歩行者の安全確保を図るものである。